



BEPPU UNIVERSITY

令和 2 年度

卒業生アンケート調査結果報告書

令和 3 年 10 月 1 日

別府大学

2020 年度 卒業生アンケート

はじめに

平成 30 年度にアセスメント・ポリシーの一環として、別府大学教育への「卒業生調査による『卒後評価』」を把握するため、聴き取りによる卒業生アンケートを実施し、その結果をホームページ上に公開しています。

昨年に続いて 3 回目となる令和 2 年度の卒業生アンケートは 2013 年度、2015 年度、2017 年度、2019 年度の卒業生を対象に実施いたしました。

その結果、依頼に対して 175 件の回答が得られました。今回の調査は、学科ごとの DP 達成度などを測るには十分な標本数はなりませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた卒業生の皆様には、感謝申し上げます。

卒業生アンケート実施目的

大学におけるカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を検討するとともに、社会へ出る卒業生に必要な社会人力と、専門課程での学びを結び、大学の教育の成果を測定するとともに、今後必要となるプログラム開発に資する目的で本調査を実施する。

1. アンケート実施方法

2019 年度の卒業生アンケートは、2013・2015・2017・2019 年度の卒業生、1,418 名を対象として実施した。

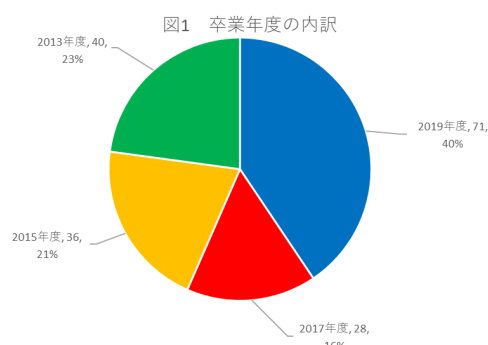
卒業生アンケートへの回答依頼は、回答依頼文書の郵送により実施した。

アンケートの実施は令和 2 年 8 月 8 日（土）～8 月 29 日（土）として、インターネット上に設置したアンケートへの回答により求めた。

2. 結果

総回答数 175 件を分析の対象とした。

175 件の内訳は 2019 年度卒業生 71 名、2017 年度卒業生 28 名、2015 年度卒業生 36 名、2013 の卒業性の回答は 40 件であった（図 1）。また、6 学科の各卒業年度における回答数を表 1 に示した。



| 学科\年度 | 2019年度 | 2017年度 | 2015年度 | 2013年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 国際言語・文化学科 | 7 | 5 | 7 | 8 |
| 史学・文化財学科 | 15 | 10 | 11 | 11 |
| 人間関係学科 | 8 | 4 | 5 | 9 |
| 食物栄養学科 | 17 | 3 | 10 | 8 |
| 発酵食品学科 | 7 | 3 | 1 | 0 |
| 国際経営学科 | 17 | 3 | 2 | 4 |

表1. 6学科における卒業年度別回答者数

「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いに対する学科別の回答比率を集計し、図 2 に示した。学科における学びの満足度ではおおむねすべての学科で、普通まででとどまる傾向があったが、国際言語・文化学科、史学・文化財学科、国際経営学科においてわずかながら満足できていないとする回答が見られた。大変満足している、満足しているまでの比率では、人間関係学科、次いで史学・文化財学科、国際言語・文化学科の順となった。

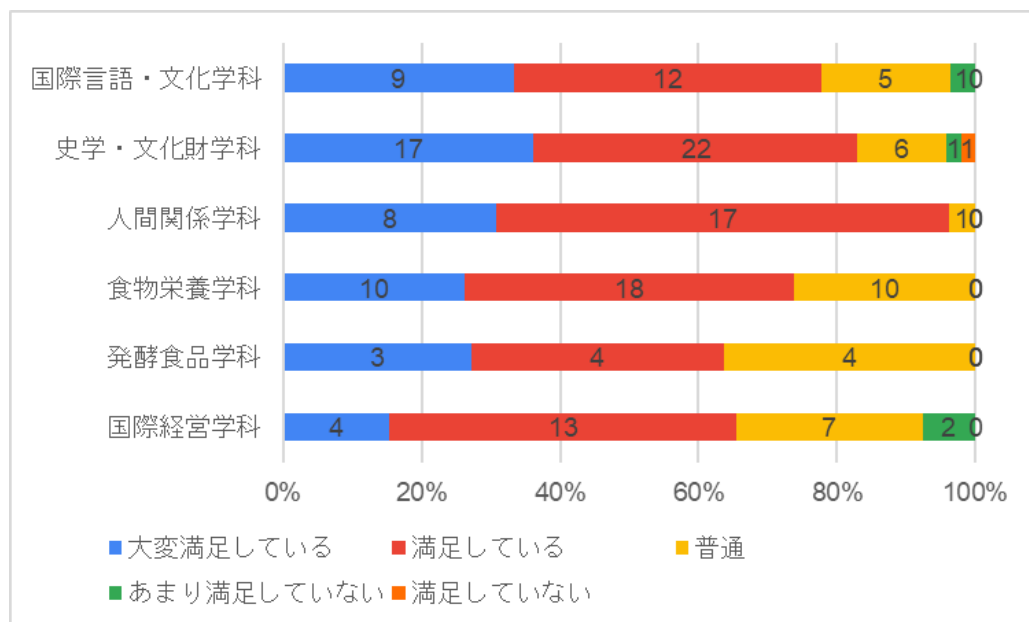


図 2. 「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」

「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、各学科で集計した結果を図 3 に示した。

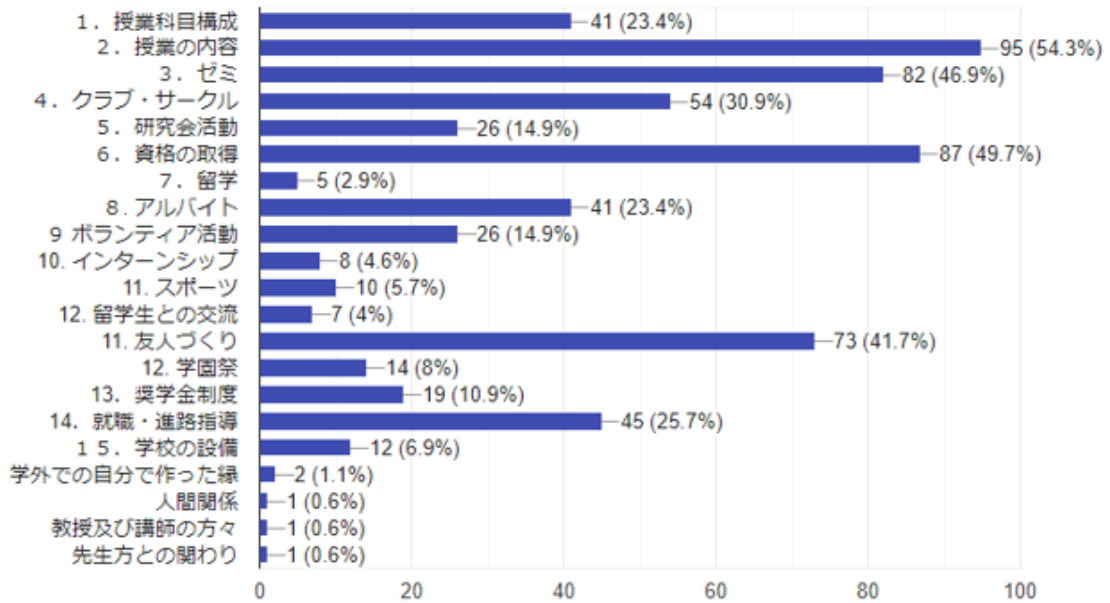


図 3. 「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生の選択した別府大学で学んでよかったところとして、授業の内容が特に多くの卒業生からの選択項目となった。またそれについて、資格の取得やゼミなどが選ばれ、次には友人づくりが選ばれた。自由回答では、学外での自分で作った縁などが挙げられた。さらに学科別に集計をすると、学科ごとに特徴ある回答が得られた(図4)。国際言語・文化学科では、授業内容、資格取得、クラブ・サークルなどを中心として多様な条件の選択が見られた。史学・文化財学科では授業の内容、ゼミなどを中心とする傾向、人間関係学科ではゼミ、授業科目構成、授業の内容など、食物栄養学科では資格の取得に特徴がみられた。発酵食品学科では総回答者数が少ないこともあるが、全体としてこの質問に対する回答選択数が少ない傾向が見られた。国際経営学科では圧倒的にゼミという項目が挙がり、次いで資格の取得、友人作りとそれぞれの学科における特徴が示された。

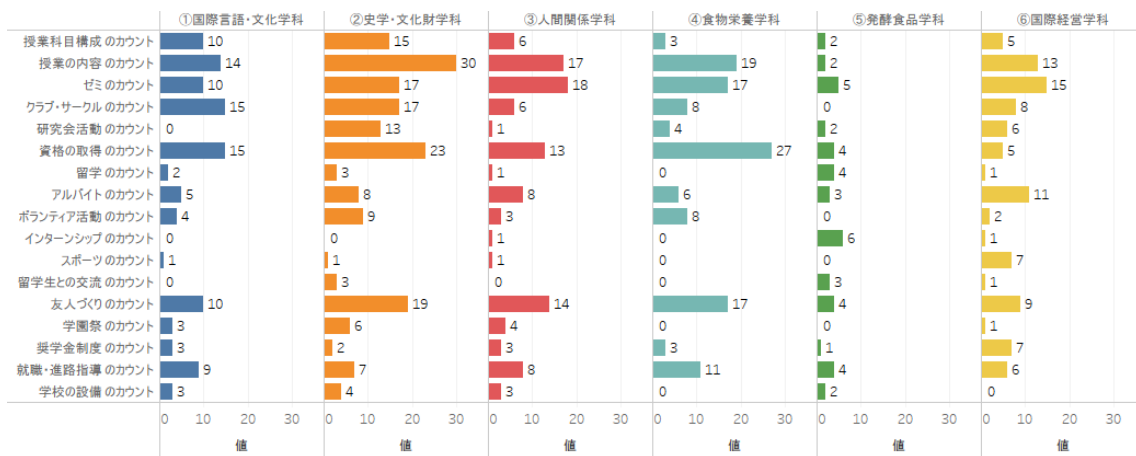


図 4. 「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)」の学科別集計結果

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、全体集計した結果を図5に示した。

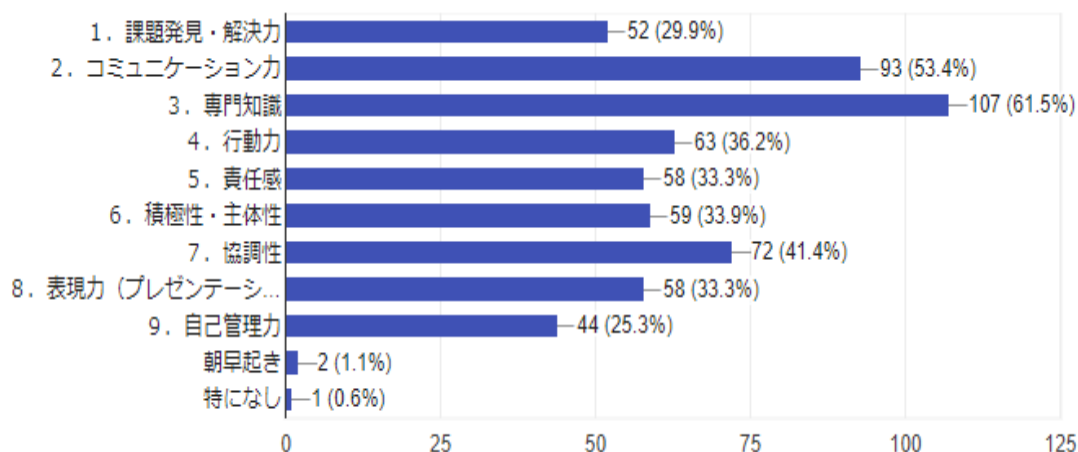


図5. 「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の全体集計結果

卒業生の多くは大学の学びにおいて、専門知識に関する知識・能力の向上を認識しているという結果が示された。さらにコミュニケーション能力や協調性といった集団における行動様式の向上が実感されている結果となった。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の問いについて、学科別に集計した結果を図6に示した。各学科に共通する知識・能力の向上を感じている項目は発酵食品学科、国際経営学科以外では、専門知識がとなった。学科ごとに特徴的な知識・能力の向上傾向が示された。

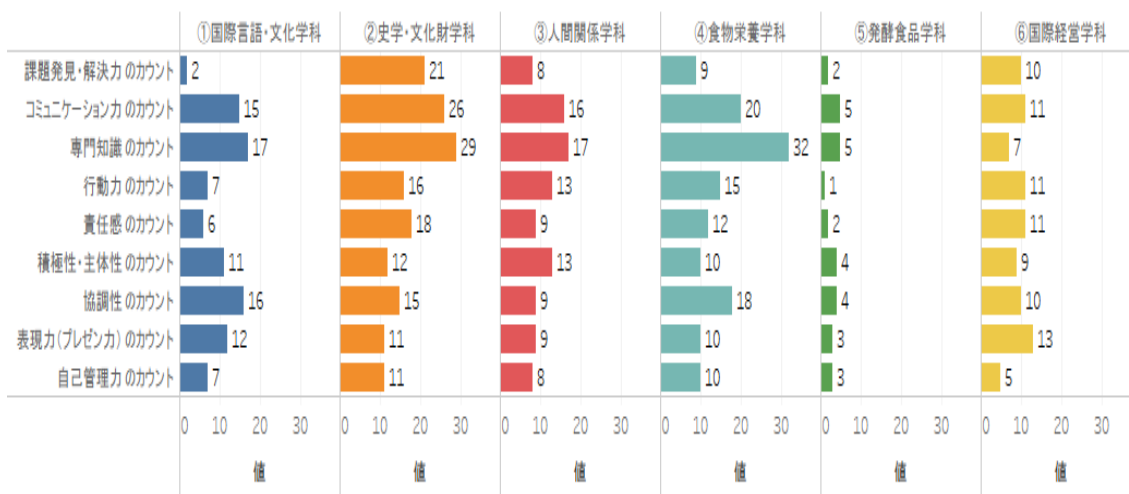


図6. 「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の学科別集計結果

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」について、全体集計の結果を図7に示した。

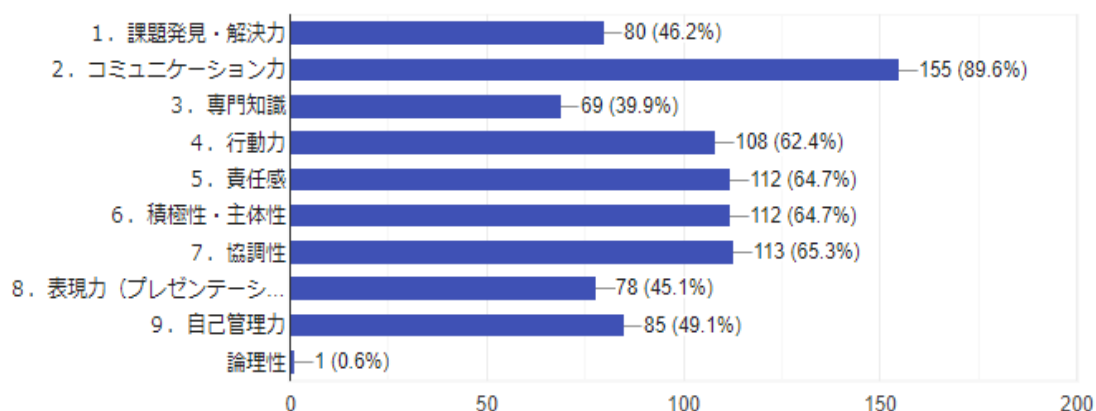


図7. 「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の全体集計結果

図7では、卒業生は就職してから社会で必要な能力として、コミュニケーション力を第1に挙げ、次いで協調性となっている。また、責任感や積極性・主体性や行動力が重要と考えている。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」について、学科別集計結果を図8に示した。

図8においても各学科共通で、就職して社会で必要と思われる能力についてはコミュニケーション力や責任感などが挙げられた。興味深いことに、専門知識については発酵食品学科、国際経営学科が比較的低い回答となった。

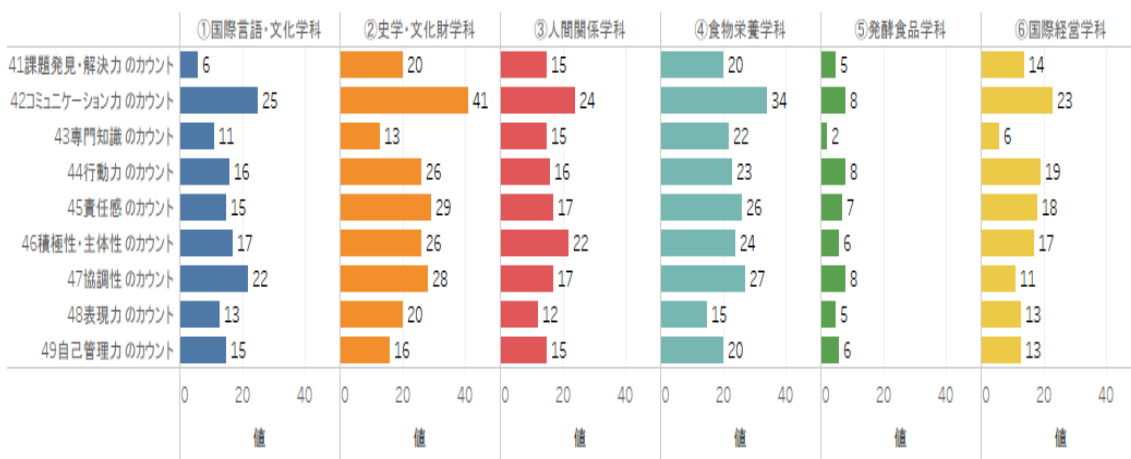


図8. 「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の学科別集計結果

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」への回答を全体集計したものを図9に示した。

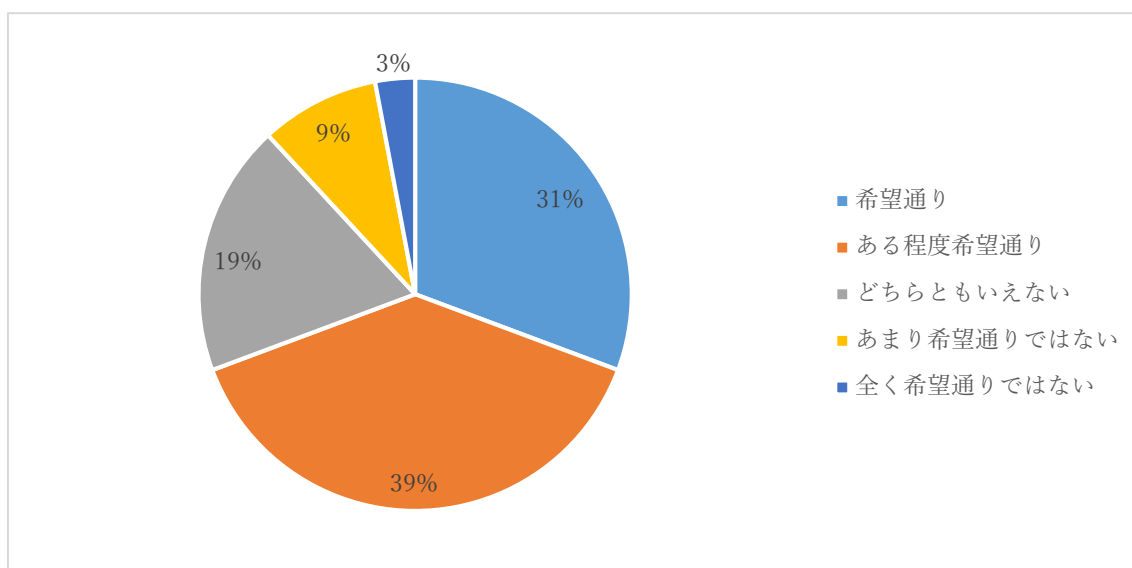


図9. 「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」の全体集計

卒業後の進路については、全体の70%の卒業生がある程度希望通りに進路を進めている一方、12%の卒業生で希望通りにはいかなかったとしている。

6. 大学での教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の学びについて（1）～（5）の観点について1. 全く思わない、2. そう思わない、3. そう思う、4. 強くそう思うの4択による評価を回答（1）～（5）の集計結果を図10に示した。

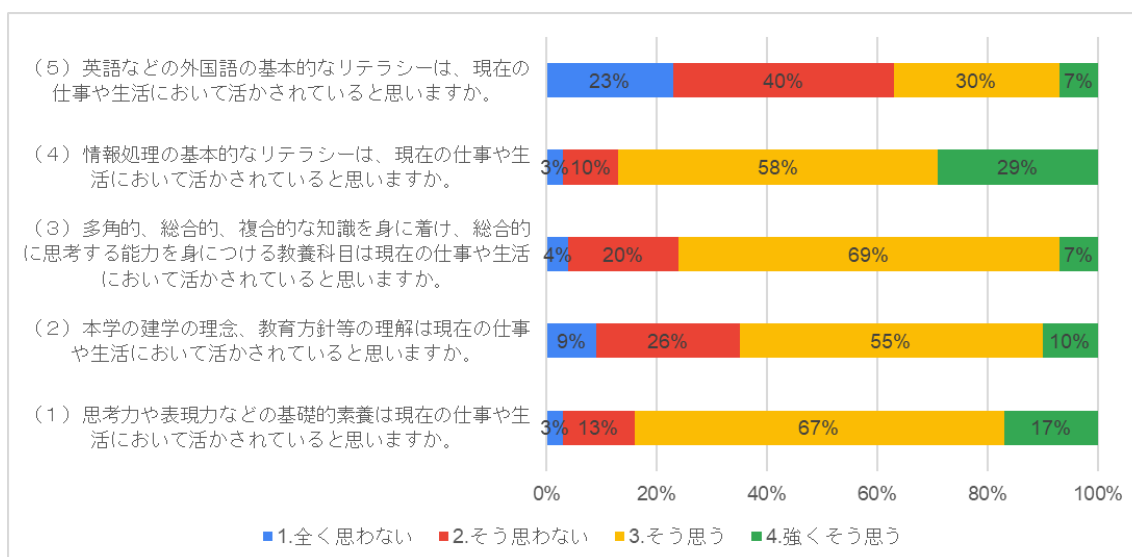


図10. 「6. 大学での教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の学びについての質問」の全体集計

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが3% (5人)、2. そう思わないが13% (23人)、3. そう思うが67% (117人)、4. 強くそう思うが17% (29人) の結果となった。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが9% (15人)、2. そう思わないが26% (44人)、3. そう思うが55% (99人)、4. 強くそう思うが10% (17人) の結果となった。

(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身に着け、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが4% (7人)、2. そう思わないが20% (37人)、3. そう思うが69% (120人)、4. 強くそう思うが7% (11人) の結果となった。

(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが3% (6人)、2. そう思わないが10% (17人)、3. そう思うが58% (102人)、4. 強くそう思うが29% (50人) の結果となった。

(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが23% (40人)、2. そう思わないが40% (70人)、3. そう思うが30% (53人)、4. 強くそう思うが7% (12人) の結果となった。

7. 専門力(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて(1)、(2)の観点について1. 全く思わない、2. そう思わない、3. そう思う、4. 強くそう思う、の4択による評価を回答(1)、(2)の集計結果を図11に示した。

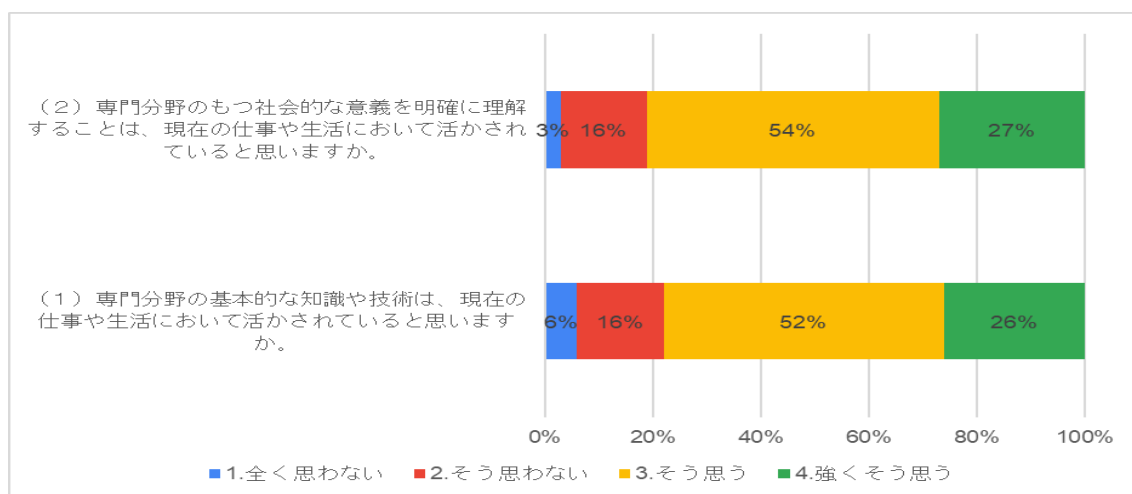


図 11. 「7. 専門力(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについての質問」の全体集計

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが6% (11人)、2. そう思わないが16% (28人)、3. そう思うが52% (90人)、4. 強くそう思うが26% (46人) の結果となった。

(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、1. 全く思わないが3% (6人)、2. そう思わないが16% (28人)、3. そう思うが54% (94人)、4. 強くそう思うが27% (47人) の結果となった。

8. 汎用力 (社会で活用できる汎用性のある能力) の学びについて (1) ~ (5) の観点について1. 全く思わない、2. そう思わない、3. そう思う、4. 強くそう思う、の4択による評価を回答願った。

汎用力の観点は、

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力 (判断力、創造力、企画力などを含む) は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力 (主体性、協働力、傾聴力などを含む) は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力 (情報収集・分析力、PCスキルなどを含む) は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

として、(1) ~ (5) の集計結果を図12に示した。

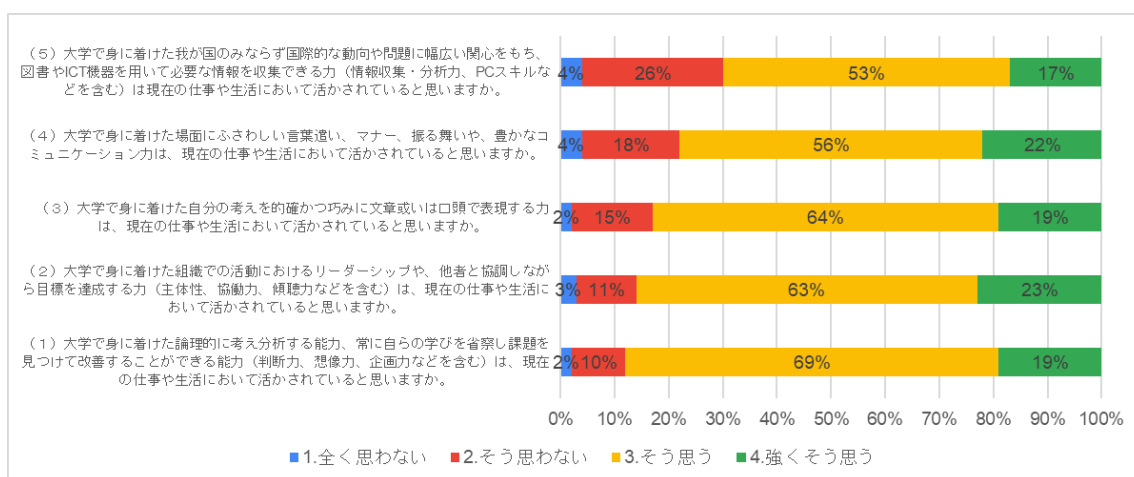


図 12. 「8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて」の全体集計

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）が、現在の仕事や生活において活かされていると思いますかについては1. 全く思わないが2%（4人）、2. そう思わないが10%（18人）、3. そう思うが69%（120人）、4. 強くそう思うが19%（33人）の結果となった。

(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については1. 全く思わないが3%（6人）、2. そう思わないが11%（19人）、3. そう思うが63%（110人）、4. 強くそう思うが23%（40人）の結果となった。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については1. 全く思わないが2%（4人）、2. そう思わないが15%（27人）、3. そう思うが64%（111人）、4. 強くそう思うが19%（33人）の結果となった。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については1. 全く思わないが4%（7人）、2. そう思わないが18%（31人）、3. そう思うが56%（98人）、4. 強くそう思うが22%（38人）の結果となった。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については1. 全く思わないが4%（7人）、2. そう思わないが26%（45人）、3. そう思うが53%（93人）、4. 強くそう思うが17%（30人）の結果となった。

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活において活かされていると思いますか、については、①大いに役立ったが14%（25人）、②役立ったが23%（41人）、③普通が38%（66人）、④役立たなかったが9%（15人）、⑤大学時代にもう少し能力を身につける努力が必要だったが16%（28人）であった（図13）。

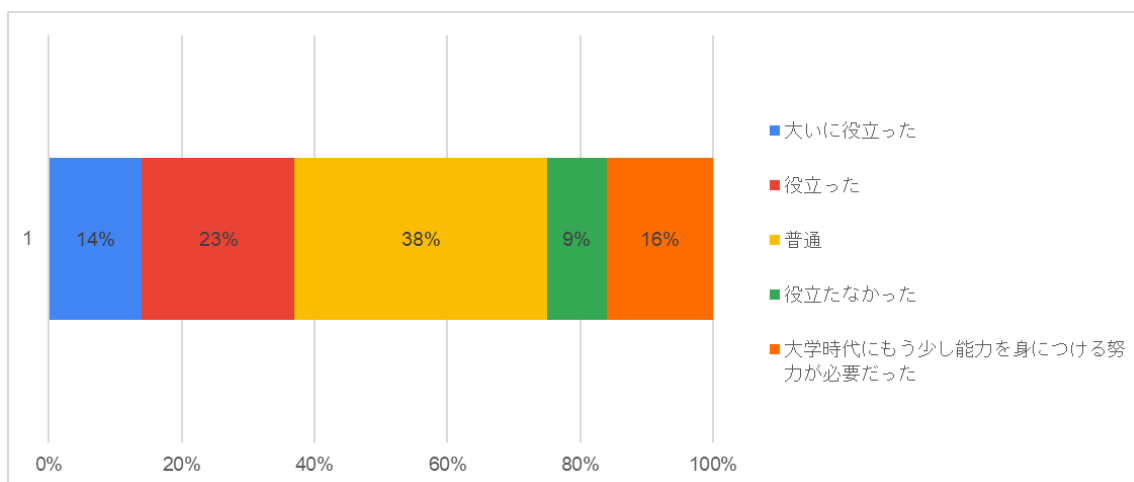


図13. 「9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていると思いますか」の回答割合

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述については資料として、各学科別の学生の成長できたと考える記載を原文のまま掲載している。

傾向として、今回の卒業生アンケートの回答した卒業生の多くは、大学生という時間の中で、それぞれに自己の変化について、文章化できる内容をもって実感できていることが理解できる。

考 察

令和2年度のアンケートは2013、2015、2017、2019年度の卒業生1418人を対象に実施された。回答数は175件で、回答率は12%と前回（令和元年度、2014年-2018年5年間の卒業生対象）の3%を大きく上回ったものの、学科ごとのDP達成度などを測るには十分な標本数にはならなかった。しかし、本学学生の卒業後の意識や動向を把握する意味では貴重なデータであり、今後は回答率の改善に努力しながら継続していくことが重要である。

内訳についてはまず、「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いについて、大変満足している、または満足していると回答した者の割合が、人間関係学科、史学・文化財学科、国際言語・文化学科、食物栄養学科、国際経営学科、発酵食品学科の順となった。大半は「満足」を回答する結果となったが、「あまり満足していない」、または「満足していない」とした者がわずかとはいえ国際経営学科、史学・文化財学科でそれぞれ2人、国際言語・文化学科で1人いたことは注目する必要がある。

次に「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったのですか（複数回答可）」の質問については、全体としては授業内容が54.3%、資格の取得が49.7%、友人づくりが41.7%、ゼミが46.9%と、これら4項目に半分近くの者が回答を寄せた。半面、先生方との関わりが0.6%となった。教員と学生の距離が近い大学とされているにもかかわらず、このような回答結果になったことについてはその理由を探る必要があるだろう。

また「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の質問については、国際言語・文化学科、史学・文化財学科、人間関係学科、食物栄養学科で「専門知識」が一番多かったが、国際経営学科は表現力（プレゼン力）が最も多かった。ただ、「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」の質問では専門知識が39.9%と目立って少ない水準となり、この意味するところを慎重に検討する必要があると思われる。その一方でコミュニケーション力が89.6%と断トツに高く、協調性（65.3%）、積極性・主体性（64.7%）、責任感（同）、行動力（62.4%）と続き、専門力よりもコミュニケーション力、協調性など汎用性が必要であることを認識したと思われる回答が目立った。

一方、「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」の質問については、希望通りが31%、ある程度希望通りが39%となり、全体の7割が希望に沿った就職ができたと判断できる。あまり希望通りではないが9%、全く希望通りではないが3%で、全体の12%が希望通りでなかったことも、就職の難しさを裏付けるデータとして無視はできないだろう。

現在、第3期中期計画の策定が行われ、2021年末までには策定が完了する見通しである。同中期計画の重点目標には、企業や自治体など人材を求める側から「別府大学は採用したくなる学生を育てている」「別府大学は信頼して仕事を任せうる人を育てている」と評価していただく大学になるために「人間成長実感率100%」が新たに追加された。重点

施策にも「サステイナブルな社会を担う人材を育成」することが追加目標として定められており、「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」でコミュニケーション能力との回答がダントツに多かったことなどを踏まえるとこれからの大学での人材育成が見えてくるように思える。

また第3期中期計画では、「入学前から卒業後までのエンロールマネジメントを確立させ、好循環をつくり出す」ことも基本方針の一つとして強調されている。出口戦略とともに卒業生との連携を強化することも含めて連動させた好循環が大学の評価を高めるとしており、そういった観点からも卒業生アンケート調査結果報告書を今後は一段と充実させる必要がある。今回の回答率はわずか12%であり、回答率を高めるためには卒業生との連携をさらに強めるための対策が求められる。

資料

「10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）」

【国際言語・文化学科】

専門知識のみ成長したかなと思います。高校までは学んだ事の無い事だったのでそれ位です。

大学で学ばせていただいたこと、全てです。

留学体験、部活動での経験

学祭の実行委員をしたりサークルの役員になったことで協調性や責任感、礼儀など社会に出ても必要なものが身につき人間として成長できました

教育実習をやり遂げたこと

留学に行ったおかげで、英語力と柔軟性、積極性を学ぶ

学祭の実行委員をしたりサークルの役員になったことで協調性や責任感、礼儀など社会に出ても必要なものが身につき人間として成長できました

スポーツ振興会事務局長、模擬授業の会席務、モスバーガーでのアルバイト。アンケートの実施お疲れ様です。ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

模擬の会による模擬授業や、講義など。

課題作成に置いて期日までにより良い物を仕上げる事を学べ、成長できたと思う

喧嘩に発展する前にグループ内の不和をそれとなく解消していくことで、協調性っぽいにかが備わりました。

学園祭、ノートテイクボランティア、学習支援ボランティア、教員免許取得

【史学・文化財学科】

地域連携事業でボランティアに参加することによって、少しずつ人と話せる様になったこと。

田植え

サークル、ゼミ、を通して、歴史の専門スキルをより詳しく学べることができた点、4年間大学で学び学芸員資格を取れたことです。

大学でいろんな人と出会って色々な人がいることを知れてよかった。

教授を含め多くの教職員とコミュニケーションをとるなかで社会人生活において必要とされるマナーを学んだこと、卒業論文作成時に求められた計画性等が今仕事をする上で大変力になっていると日々感じております。失礼を承知の上で申しあげさせていただきます。

頂戴したお手紙の文頭の『はや半年・・・』とございましたが、昨年度卒業された学生以外も対象とされていたので違和感を覚えます。コロナ禍で今までにない煩雑な対応を求められる多忙な時期かとは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。

人見知りが強くなかなか自分から話したり行動することが苦手だったが、大学生になり一人暮らしを始めて1人で色々な事を責任を持ってやらなければならない状況に置かれた事で、自分から行動を起こしたりサークル活動を通して年齢に関係なく様々な人とコミュニケーションを取れるようになったこと。

教育についても学ぶことができ、それが現在中学校で働いていて活かされている。史学文化財学科での専門的知識や教職課程の講義で学んだことは今の財産になっている。また第7期模擬授業の会の運営もさせてもらったことは特に力になっています。当時の今井先生牧先生には大変お世話になり、現在中学校で頑張っているのも大学で学ぶことができたおかげで、これからも頑張りたいと思います。

サークル活動やスポーツ振興会の役員、教職勉強会会長など責任あるポジションを経験したことにより、現在教員として生徒の指導に役立っている。

また、コミュニケーション力を鍛える総合ゼミや、教職・司書課程の授業で人と話すことや協力することの大切さを学び、1年生の頃に比べて成長できた。

人間性、社会性の点においてはある程度成長があったと感じています。また、大学での勉強を通じて、英語が少し身に付いた点も、今の自分にプラスになっていると思います。

進学に伴い、初めて県外に出て、他県の友人と交流し、他県の文化、歴史を学ぶことができた。県内の大学に進学していたら決して経験できないかけがえのない経験をすることが出来たことは自分がこれから生きていく上で一生の財産になったと思う。在学生の皆さんには今、この瞬間を大切にキャンパスライフを過ごしてほしい。

初対面とのコミュニケーション能力が培われた。

大学でいろんな人と出会って色々な人がいることを知れてよかった。

同世代に限らず、上の世代の方とも接することができたのでコミュニケーション能力が入学前よりも上がったと思う

学部の勉強と教職の勉強との両立

学園祭や役員の経験を通して物事への責任感や協調性を持つことができた。

人前で何かをするという事が苦手だったが、それが多少なりとも克服することができたのではないかと思う。また、そこに少し楽しさをも見いだせることができるようになったことは成長だと思う。

1人暮らし、アルバイト、運転免許の習得、司書の資格習得等沢山の経験をして、忙しかったけど、辛抱強くしたことが成長できたなと思います。

コミュニケーション能力がもとより乏しかったが、卒業間際には、大学に来るお客さん相手に会話し、案内等が出来るようになった。

友人や先輩、先生方と協力して社員寮の下の遺構を掘ったり、地元へ帰省した際に小学校の校庭の下を掘ったりしました。一人の力ではなく、みんなで協力して進める事の重要性を知り、就職した今でも周りの方とのコミュニケーションを大切にしています。学ばせて

頂いていた時はあまり感じていませんでしたが、今思うととても良い経験をしていたと思います。本当にありがとうございました。

教育実習などの学外の実習やサークル活動で多くの人と出会い、色々なお話を聞くことが出来たことで考え方など幅が広がった。

在籍中に多くの方々と接する機会もあり、また幼少期から好きな学問や知識を修学出来たことは、大変良い経験になったと思います。また、課題を指摘される事も多くあったお陰で、ゆっくりではあるものの成長に繋がっていると思います。

【人間関係学科】

興味のあるイベントに参加することで、コミュニケーション能力や人間関係の形成、知識の幅が広がった。

実習報告会や卒論中間発表など、自分で考えまとめたものを「発表する場」があったことで、よりよい伝え方や言葉の選び方を学び、新しい発見もあった。

ゼミで初めてレポートを提出した時に、先生から「ポエムだね」と言われたことがとてもショックでした。しかし、私はこの言葉をきっかけに言葉や文章に気をつけるようになりました。簡単なレポートでも、主語や述語に注意したり、他の人に文章を見てもらうよう心がけました。そのおかげで、卒論は文書に苦勞せずに済みました。

交友が増えた事。

大学院の入試の勉強と国家試験の勉強を両立し、どちらも合格したこと

人と関わるのが苦手だが、コミュニケーション能力が向上し、人と関われるようになった編入学だったのですが、大学の先生から専門科目(心理、社福)の勉強を教えてもらい、知識を学んで成長する貴重な機会だったと思います。

人との関わり方がみについた。正直やりたいことは大学終わってからでできました。大学は専門知識や就職に有利になるとかだけではなく、人として成させてくれるところだと思った。留学生とは交流したくてもできない空気がありました。タイミングが無いしそもそもどの学部にも何人が居るかさえもわかりませんでした。

【食物栄養学科】

我慢することに慣れた

学外実習、ゼミの活動、アルバイト

協調性、コミュニケーション力

ボランティア活動を通して人の繋がりが持てました。

ゼミの活動や授業を通してコミュニケーション能力を培うことができた

自分のどこにつまずいているのかを探して解決する力は付いたと思う。初めての事でも何でもやってみようと思うようになった。

ボランティア活動や、実習。

講義や実習などで専門分野の知識を身に付けることができた。その他にも大学の行事や卒業論文などでコミュニケーション力やプレゼンテーション力も身に付き、大学生活を通して同期や先輩・後輩、先生、地域の方との繋がりを深めることができた。

フランス研修

協調性と自己管理能力

ボランティア

日々の積み重ね

卒業論文の作成では、国試の勉強と並行して、研究室のメンバーと協力して作り上げ、粘り強さや責任感がさらに強くなりました。

他人の意見も聞くようになった

大学のゼミで行ったロコモ教室です。人と関わる中で、人と人が交わる上での

言葉の使い方、使い方、表現の仕方や人と関わる上でもたらされる人の優しさや温かさを知り、人としてもっと中身のある人間になりたいと思えました。そして、そのように人と向き合う中で、自分の課題も見つけられたので、成長できたと思います。

講義や実習などで専門分野の知識を身に付けることができた。その他にも大学の行事や卒業論文などでコミュニケーション力やプレゼンテーション力も身に付き、大学生活を通して同期や先輩・後輩、先生、地域の方との繋がりを深めることができた。

湯けむり

実習

自分自身、元々偏差値のとても低い高校を卒業したため、高校のテストは勉強をしなくても赤点を取らないような問題ばかりで、きっと大学でもそうだろうと思い込んでいた。もちろん、そんなことはなく、しっかり勉強しなければ単位が貰えないシステムで、入学してすぐの頃はとても苦しい思いをしながら勉強をしていました。頭のいい子から勉強方法を教えて貰ったり、わからない部分を教えて貰ったり、とにかく誰かと勉強をして自分に身につける形を学べた点は自分が成長できたなと思う部分でした。成長とは関係ないですが、学部学科的にも国試の為に勉強をする毎日の中で皆それぞれ焦りや不安からイライラすることもあって、私もイライラしたりしていました。そんな中でも誰かと悩みを共有できる一生分の友達を作れたことは大学のおかげだと思っています。

国家試験に合格できたこと

【発酵食品学科】

110周年記念式典では、大きく夢に向かって羽ばたくことができた

以前より行動力が身についた

論文の作成

第一希望の就職先に就職できたこと

学業やバイト、一人暮らしの生活を両立させることができた。ゼミで担当の先生と様々な話をすることで視野が広がり、研究を通して挑戦することや一人で物事を行なっていくことができるようになった。学校やバイト先、地域で様々な人と関わることで、改めて自分の長所や短所を知ることができ、またある程度コミュニケーション力も身につけることができた。

今までスポーツ関係の友人ばかりだったが、大学で様々な人の生き方を見て、高めあえた。

プレゼンテーション能力。プレゼンテーションを行うことは、どのように伝えたら、聞き手に伝わりやすいのかを考えることであり、日々の会話の文章構成を見直すきっかけとなりました。そのため、研究室でのこまめな研究報告など、小さなプレゼンテーションでいいので経験を積ませてあげると、就活で差が出てくるのかなと思います。

【国際経営学科】

コミュニケーション力

部活動を通して精神面身体面ともに成長できました。また、教職課程の勉学を通じて、コミュニケーション力等も身につけ、仕事において大いに役立っています。

責任感を養うことで仕事場の上司などからみられる目は変わってくると思います。

在学中は、森先生のゼミにおいて、色々な経験や知識を増やすことができました。経営戦略を学んだことにより、普段の生活を豊かにし、自分の目標通りの進路に進むことができました。ボランティア活動に参加することで、地域貢献というものがどういうものであるかを理解することができました。

人前にでて発表するなどの行為が苦手だったが、パワーポイントなどで自分の成果を発表する機会が何度もあり、自分のプレゼンテーションの力に気づくことができた。

人見知りだったのが、アルバイトなどを通じて自分から積極的に話せるようになり、いろんな考え方も変わるようになった。

卒業間際に、リーダーとして責任ある立場になり、ある意味よい経験をした。

興味のある分野に対しては時間をかけて研究をして、情報を自分なりにまとめられるようになりました。

人間力、表現力

数字から見る分析力、PCを使った資料づくり、効率的な作業の進め方、経営状況の分析

留学生との交流や、海外研修など幅広い文化を学ぶことができたのは非常に良い経験だったと思います。

大学の中では成長は感じませんでした。閉鎖的だったので。逆に自分から学外に出て、いろんな人と会い恐らく学部の中で一番外に出てお金を使い、たくさんの人にあった自信はあります。閉鎖的な空間の大学中で、社会を知らないままの大学生に、いかに社会を語れるのか今後期待しいです。また、私は県内なので辛口か甘口かわかりませんが大学様に来いと言われればいつでも行きます。読んで頂ければ大学の素晴らしさ、逆のこと。今何が必要なのか伝えにいきます。とりあえず履修届は紙はやめた方がいいですね。

令和2年8月7日

別府大学
卒業生各位

別府大学
学長 飯沼 賢司

卒業生アンケートへのご協力をお願い

拝啓

残暑の候、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。
皆様のご卒業されてから、それぞれの就職・進路先において、ご活躍のことと存じます。
さて、別府大学では、卒業後社会に出られた皆様から、別府大学における学びについて、ご意見を求め、今後の大学における教育の改善に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、皆様には大変お手数をおかけしますが、下記の卒業生アンケートに関するご案内をご一読いただき、ぜひ、ご回答をいただきますようお願いいたします。

敬具

記

1. 卒業生アンケート実施の目的

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

より多くの皆様のご回答をいただけますよう、お願いいたします。

2. 調査対象

令和元年度・2017年度・2015年度・2013年度卒業生

380名 321名 320名 397名 計 1,418名

3. アンケート実施期間

令和2年8月8日（土）～8月29日（土）を予定しております。

4. 回答方法

URL、もしくはQRコードを用いて、インターネット上のアンケート回答ページへアクセスして、ご回答ください。

URL は <https://forms.gle/hW9pfdne5nAG9sWA>

以上

2020 年度別府大学卒業生アンケート

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

あなたの卒業された年度を教えてください。*

選択

あなたの卒業された学部・学科を教えてください。*

選択

1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

1. 大変満足している
2. 満足している
3. 普通
4. あまり満足していない
5. 満足していない

2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)。

1. 授業科目構成
2. 授業の内容
3. ゼミ
4. クラブ・サークル
5. 研究会活動
6. 資格の取得
7. 留学
8. アルバイト
9. ボランティア活動
10. インターンシップ
11. スポーツ
12. 留学生との交流
11. 友人づくり
12. 学園祭
13. 奨学金制度

14. 就職・進路指導

15. 学校の設備

その他:

3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力

2. コミュニケーション力

3. 専門知識

4. 行動力

5. 責任感

6. 積極性・主体性

7. 協調性

8. 表現力(プレゼンテーション力)

9. 自己管理能力

その他:

4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力

2. コミュニケーション力

3. 専門知識

4. 行動力

5. 責任感

6. 積極性・主体性

7. 協調性

8. 表現力(プレゼンテーション力)

9. 自己管理能力

その他:

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

1. 希望通り

2. ある程度希望通り

3. どちらともいえない
4. あまり希望通りではない
5. 全く希望通りではない

6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについて伺います。

(1)思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2)本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(3)多角的、総合的、複合的な知識を身に着け、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(4)情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

7. 専門(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて伺います。

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて伺います。

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(2) 大学で身に着けた組織での活動におけるリーダーシップや、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働力、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない

2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(4) 大学で身につけた場面にふさわしい言葉遣い・マナー・振る舞いや、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。

大いに役立った

役立った

普通

役立たなかった

大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だった

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

回答を入力

卒業生アンケートは以上となります。ご回答ありがとうございました。